

平成22年12月

空港ティーガーデンシティ構想

～ 富士山静岡空港の更なる魅力向上のために ～



静 岡 県

富士山静岡空港の魅力を高める有識者会議

目 次

I	“ガーデンシティ”	1
II	空港ティーガーデンシティ	1
1	構想の目的	1
2	空港と空港周辺の課題	2
3	構想を進めるにあたっての基本的な考え方	3
4	構想の概要	4
(1)	エリア	4
(2)	空港を核とした4つの道	4
(3)	短期プラン(23年度の取組)	4
(4)	中長期プラン	5
(5)	空港ティーガーデンシティ構想グランドデザイン(エリア図)	5
5	空港の基本目標と手段	6
(1)	基本目標	6
(2)	目標を達成するための手段	7
(3)	現状	9
6	主な取組例	10
・	石雲院展望デッキ	11
・	ペDESTリアンデッキとエアポート楽座	12
・	エアポート楽座	13
・	西側展望台(移設)、東側展望台	16
7	4つの道(空・茶・風・海)の取組例と観光等素材	18
(1)	空の道《エアポート・ロード》	18
(2)	茶の道《ティー・ロード》	19
(3)	風の道《ウィンド・ロード》	20
(4)	海の道《オーシャン・ロード》	21
8	志太榛原・中東遠地域	22
9	これまでの検討経過	23
10	定期便各静岡支店からのメッセージ	24
	《付属資料》	
○	4つの道の観光等素材(詳細版)	
○	富士山静岡空港を中心としたグランドデザインの設計趣旨	
○	第1回から第6回富士山静岡空港の魅力を高める有識者会議発言要旨	
○	第1回から第3回地元検討会発言要旨	
○	223(ふじさん)にも及ぶ富士山静岡空港利活用戦略本部の取組	

I “ガーデンシティ”

“ガーデンシティ”とは

ガーデンシティとは、二十世紀の初め、「田園都市」という言葉で日本に伝えられた概念だが、実は、その原型は日本にある。欧米の人々が初めて日本にやって来たとき、大都市でありながら、花や緑、水にあふれた百万都市江戸の景観を「ガーデンシティ」と表現したものである。

志太榛原・中東遠地域は、牧之原台地の茶園景観、大井川流域の田園景観、そして奥大井地域の森林景観などの広大な魅力あふれる自然空間と、空港機能を中心とした都市空間が調和した、真に「ガーデンシティ」を形成するに相応しい場所である。

本構想は、富士山を正面に望む美しい茶畑を有する緑豊かな自然環境に恵まれた空港周辺地域を、特に『ティー』ガーデンシティとして位置付け、「ふじのくに」の玄関口に相応しい、魅力溢れる空港の実現を目指すものである。

II 空港ティーガーデンシティ

1 構想の目的

空港周辺の賑わい創出等による空港の利活用促進

～富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくりのスタート～

- **旅立つ人**には、これから始まる空の旅への期待を膨らませるように魅力を向上！
- **遠来からのお客様**には、おもてなしの心が伝わるように魅力を向上！
- **空港を訪れる見学者**には、今度は自らが是非、利用してみようと感じていただけるように魅力を向上！

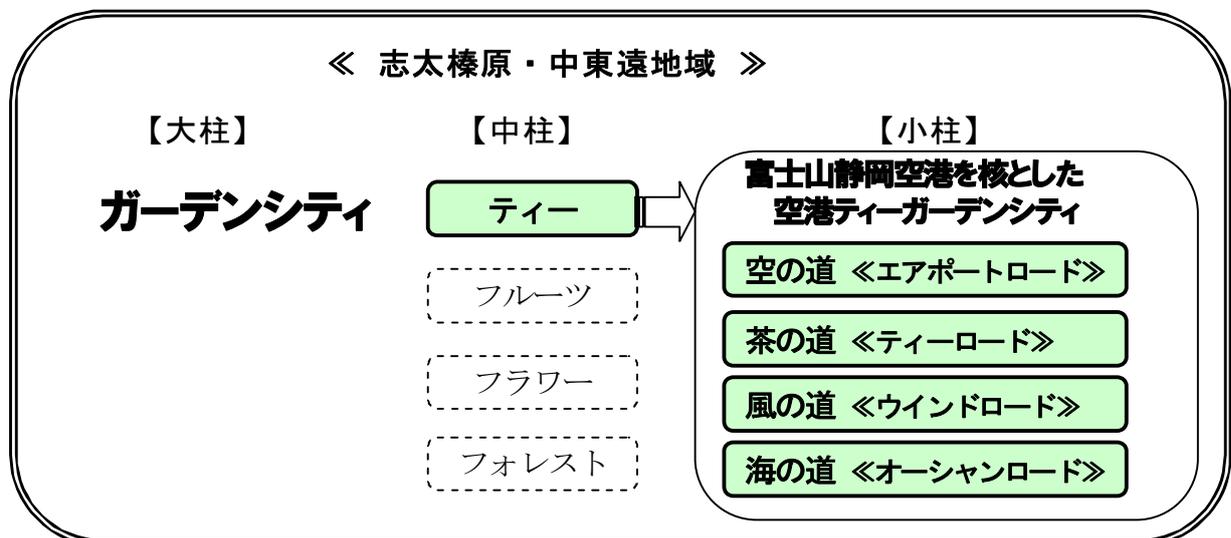
「ティー」をキーワードに空港周辺を「空・茶・風・海」の「4つの道」にゾーニングし、地元等と協働して、空港及び空港周辺の賑わいを創出することにより、空港利活用の促進を図る。

第4回有識者会議での意見



「これからの空港というのは、航空客だけでなく、非航空的な利用客を集めるというのが一つの課題になると思います。港とか鉄道の駅のような機能をもしも空港が持てれば、それは非常に重要なことだと思います。」

《参考》 概念図



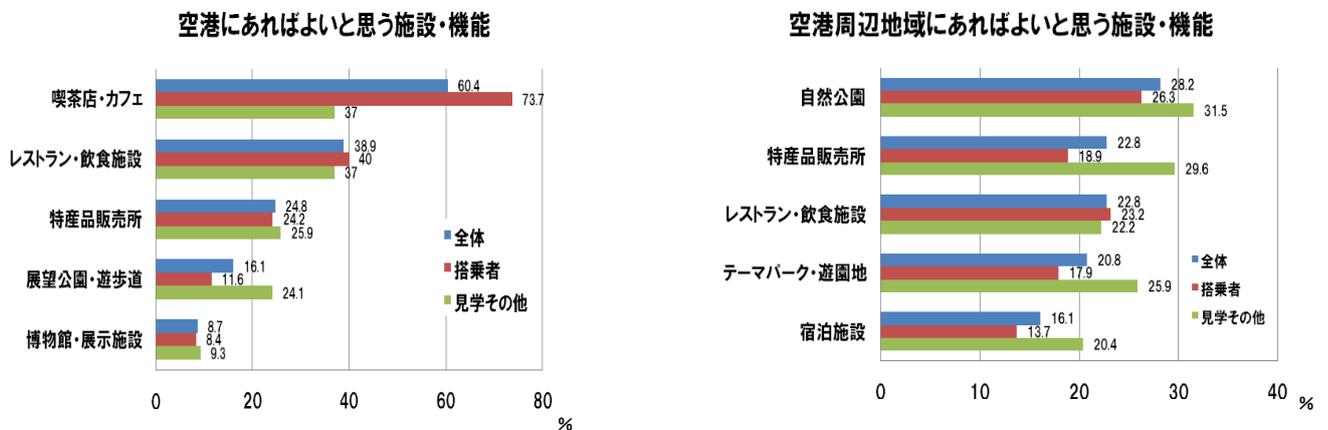
2 空港と空港周辺の課題

旅立つ前の高揚感を味わうゆとり空間、訪れた人が憩う空間の不足

●空港及び空港周辺にあればよいと思う施設・機能

空港にあればよいと思う施設・機能については、「喫茶店・カフェ」が最も回答率が高く、全体では60.4%、搭乗者（到着便＋出発便）に限れば73.7%に上る。次いで、「レストラン・飲食施設」（全体で38.9%）、「特産品販売所」（同24.8%）、「展望公園・遊歩道」（同16.1%）の順となっている。

空港周辺地域にあればよいと思う施設・機能については、「自然公園」が最も回答率が高く、全体では28.2%、次いで、「特産品販売所」「レストラン・飲食施設」（いずれも同22.8%）



*平成22年6月8日(火) 富士山静岡空港において調査員が聞き取り(149人回答)

第5回有識者会での意見



「やはりこれだけ見学者がいる、県民の方の関心がある間に、こういう楽しい充実した施設をつくっていくということは、大変重要だと思いますし、是非、今のビルを補完するという意味からもあるといいなと、思います。」

3 構想を進めるにあたっての基本的な考え方

昔ながらの豊かな自然と静岡ならではの美観を最大限に活用

空港とその周辺の賑わい創出及び空港利用の拡大を図るため、「ティー」（お茶、茶畑）という空港周辺地域にもともとあるすばらしい景観、観光資源を活かすことを基本とし、新しいものを作るより、もともとある“いい素材”を活用するという視点を重視する。

本構想における中核施設として、空港隣接地の「石雲院展望デッキ」、「ペDESTリアンデッキ」「エアポート楽座」などを位置付け、先行して整備を進める。

また、中核施設以外に「空・茶・風・海」の4つの道の関連施設等についても、地域の方々の御意見や空港の利用状況の進展などを踏まえ、具体的な計画づくりを検討していく。

なお、本構想は県、市町、民間等が一体となって施策を進めていくための方向性を示すものである。



静岡文化芸術大学チーム



「ティーガーデンシティとは…茶畑や大井川越しに富士山を望み、昔ながらの豊かな自然と静岡ならではの美観に恵まれたこの地に、美しい風景と共存しながら、豊かな暮らしを楽しみ、新たな交流と出会う次代のかたちを提案します。」



構想エリアをEV（電気自動車）などで結ぶことなども検討。写真は、浜松市のNPO 法人（HSVP 羽田隆志理事長静岡文化芸術大学准教授）提供



レンタサイクル

4 構想の概要

空港ティーガーデンシティを4つの道で提案

構想は、空港を核として、「石雲院展望デッキ」や「ペDESTリアンデッキ」、旬の農産物を揃えた特産品直売所とカフェを兼ねた「エアポート楽座」を中心とする「空の道・エアポートロード」、県内有名茶産地のお茶を味わい、憩える四阿（あずまや）を備えた散策路としての「茶の道・ティーロード」、蓬莱橋、島田の川越遺跡、金谷の石畳坂などの史跡とお茶の郷等の既存施設を結ぶ「風の道・ウインドロード」、空港周辺と吉田公園を結ぶ「海の道・オーシャンロード」という「4つの道」の整備により、空港の魅力を最大限に高めていく。

(1) エリア

- ・ 吉田公園から石畳坂までを範囲とし、4つの道「空・茶・風・海」で構成する。
- ・ 将来的な範囲拡大（志太榛原地域・中東遠地域）については、今後、検討する。

(2) 空港を核とした4つの道

① 空の道 《エアポートロード》

- ・ 空港内に石雲院展望デッキ、ペDESTリアンデッキ及びエアポート楽座等を整備
- ・ 空港ターミナルビルや空港施設を取り囲むリング状の遊歩道を整備 など

② 茶の道 《ティーロード》

- ・ 空港周辺の森やビオトープ等を結ぶ遊歩道を整備
- ・ 県内の有名茶産地8か所のお茶を味わい憩える四阿（あずまや）の設置 など

③ 風の道 《ウインドロード》

- ・ 金谷中学校跡地「風の郷」、お茶の郷、グリーンピア牧之原、旧東海道石畳、蓬莱橋などの史跡を結ぶ道。地元特産品を味わえる飲食店等を誘致

④ 海の道 《オーシャンロード》

- ・ 小山城から県営吉田公園など、駿河湾の海岸線を結ぶ道の賑わい創出 など

(3) 短期プラン(23年度の取組)

① 石雲院展望デッキ

- ・ 石雲院展望デッキは、空港利用者や地元の皆様が空港を眺めながら憩える施設として、優先的に整備する。

② ペDESTリアンデッキ

- ・ ペDESTリアンデッキは、石雲院展望デッキとともに優先的に整備する。

③ エアポート楽座

- ・ エアポート楽座は、基本計画策定に向けて、関係機関との調整やマーケティング等の基礎的調査を行い、周辺施設との相乗効果を目指す。

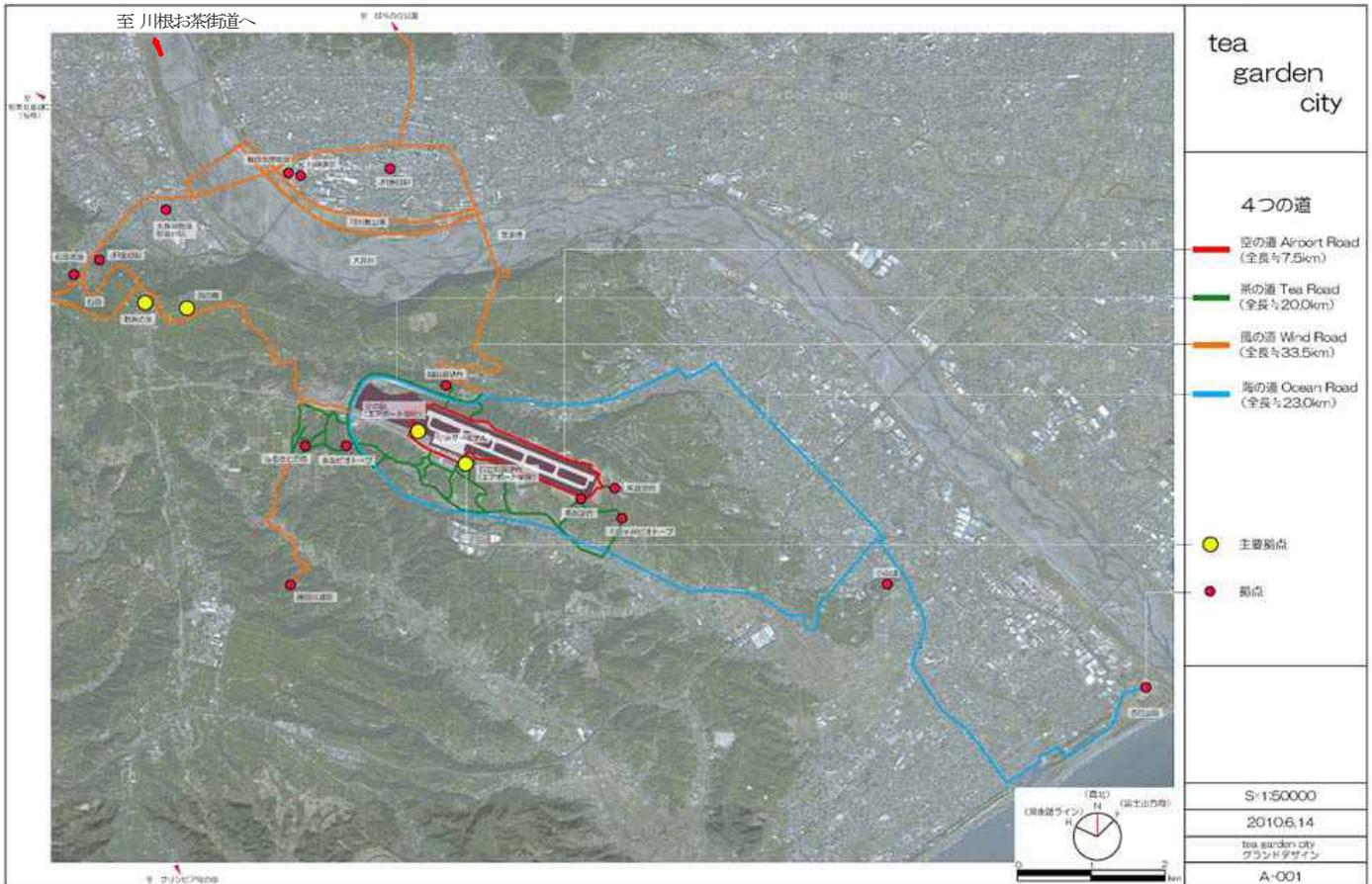
④ 西側展望台の移設等

- ・ 現状の展望台を西側に移設し、エプロン拡張整備を進める。

(4) 中長期プラン

上記短期プラン以外の「4つの道」の関連施設や施策等については、中長期に検討する。

(5) 空港ティーガーデンシティ構想グランドデザイン (エリア図)



■空の道 《エアポートロード》 拡大図

東展望台～石雲院展望台ルート詳細図(案)



5 空港の基本目標と手段

住んでよし、訪れてよし、学んでよし、働いてよしの理想郷をここで実現

- 航空客（旅客数） 2013年度の目標70万人
- 非航空客（見学者等）100万人以上（エアポート楽座などの整備後）
- 航空貨物 2013年度の目標 コンテナを搭載できる就航機材の大型化
- 雇用の創出 企業立地の推進、新幹線新駅をにらんだ定住圏の充実
- 1年に1度は県民が訪れたくなる空間づくり

(1) 基本目標

●航空客（旅客数） 2013年度に70万人



空港ターミナルビル



航空貨物輸送

●非航空客（見学者等） 年間100万人以上（エアポート楽座などの整備後）

（参考：初年度見学者数）

期 間	21年6月4日～28日	21年7月～22年5月(11ヵ月)	初年度
見学者数	184,493人	864,000人 ▶ 平日 2,000人 土日 4,000人	約1,050,000人

県民からのEメール（沼津市）



空港の点の開発ではなく、せっかくの良い機会ですから、静岡県全体に波及するプランを。(中略)
閉塞感のある日本を元気にさせるような空港にさせていただきたく思い、投稿させていただきました。

県民からのEメール（浜松市）



冬の天気の良い日に富士山を見に行きました。飛行機半分、富士山半分です。静岡空港は富士山見物の新しい観光名所で県西部からの新しい観光スポットです。東屋での吹きさらしの中で寒さがこたえましたが、エアポート楽座が出来ればそれも解決するでしょう。

(2) 目標を達成するための手段

航空客（旅客数）2013年度70万人

●富士山静岡空港の路線の充実

- ・航空会社等への積極的なトップセールスを展開し、国際線の誘致を図る。
- ・定期便の就航可能性の高い台湾路線について、チャーター便の積み重ねにより、定期路線化を図る。
- ・富士山静岡空港を拠点とした国際航空ネットワークの充実に向けて、中国各地、タイ、スイス等の多様なチャーター便の誘致を図る。
- ・国内の新たな定期路線やチャーター便の就航に向けて、国内就航予定先にふじのくに交流団等を派遣する。
- ・海外就航先への県民交流団の派遣や国内就航先への産業交流団の派遣により、就航先と様々な分野での交流を促進する。
- ・イベントへの出展や、CM放送、広告の掲出等により、県内及び就航先での静岡路線の認知度の拡大を図るとともに、利用者ニーズに対応した旅行商品の造成・販売への支援をはじめ、旅行閑散期対策、団体や教育旅行、ビジネスでの利用喚起を戦略的に展開する。

●223（ふじさん）にも及ぶ「富士山静岡空港利活用戦略本部」の取組を着実に実施

6分野14テーマ113項目のうち、74項目を実施、39項目を今後実施、主な取組数は223事業

分野	テーマ	実施済	今後実施	取組数
1 利用しやすい空港づくり	(1) ターミナルビルの利便性向上 (2) 空港アクセスの改善 (3) 空港周辺地域の整備	13項目	11項目	38取組
2 空港の魅力の情報発信	(4) 静岡県の魅力発信（就航先等） (5) 空港、就航先の魅力発信（県内） (6) 旅行に関する情報発信 (7) 隣県との協働による情報発信	31項目	15項目	107取組
3 利用者への支援	(8) 魅力ある旅行商品の提供	3項目	2項目	10取組
4 空港の楽しさ向上	(9) イベントの開催等	3項目	2項目	7取組
5 県民一丸となった取組	(10) 県庁全庁をあげた取組 (11) 市町との協働 (12) 民間との協働 (13) 若年層の交流拡大	20項目	8項目	50取組
6 空港の安心・安全の向上	(14) 空港機能の向上、C I Qの支援	4項目	1項目	11取組
計		74項目	39項目	223取組

* 詳細は、巻末資料を参照

非航空客（見学者等）100万人以上（エアポート楽座などの整備後）空港周辺の充実した交通ネットワークを活用

- エアポート楽座の整備による集客 多彩な農産物を販売（参考例：「道の駅・掛川」の集客力年間120万人）
- 石雲院展望デッキの整備による空港を眺めながら憩えるスポットの演出
- 地元と連携した定期的なイベント（牧之原市、航空教室など）
- スターバックスなど魅力ある店舗の誘致による集客



●県民一人1年に1回訪れる仕掛けづくり

35市町ごと利用促進月間の創設、毎週金曜日はFLYデーなど利用促進キャンペーン
フライト体験教室など子供が楽しめるイベントの開催

航空貨物 2013年度就航機材の大型化 本県の年間の航空需要は6万トンから10万トン

【短期】

◎就航機材のベリ一部を利用した航空貨物実績の着実な積み上げを図る。

- 現有施設を活かした国内線の航空貨物取扱の増大
- 国際航空貨物に対応するための施設・受入体制の整備

【中長期】

◎コンテナ貨物の取扱いの実現により、航空貨物取扱実績の増大を図る。

- 就航機材大型化のための旅客需要の開拓
- コンテナ取扱いのための適切な規模の貨物上屋整備、地上資機材の導入

◎貨物専用機の誘致の可能性を検討する。

- 貨物専用機の誘致は将来的検討課題とするが、運用時間の延長などの課題がある。
- 貨物専用機のための適切な規模の貨物上屋整備、地上資機材の把握

(3) 現状

H20年度 国内線・国際線空港別乗降客数順位

(人)

		国内	国際	合計
※	1 東京	59,571,929	2,438,000	62,009,929
	2 成田	1,061,151	28,438,000	29,499,151
	3 新千歳	15,640,259	789,000	16,429,259
	4 福岡	13,943,639	2,042,000	15,985,639
	5 関西	4,860,072	9,878,000	14,738,072
	6 大阪	14,430,054		14,430,054
	7 那覇	13,879,082	306,000	14,185,082
※	8 中部	5,604,691	4,752,000	10,356,691
	9 鹿児島	5,106,048	79,000	5,185,048
	10 広島	2,681,906	306,000	2,987,906
	11 熊本	2,873,278	35,000	2,908,278
※	12 仙台	2,588,231	261,000	2,849,231
	13 宮崎	2,753,271	45,000	2,798,271
	14 神戸	2,470,018	1,000	2,471,018
	15 松山	2,383,065	45,000	2,428,065
	16 長崎	2,280,729	31,000	2,311,729
	17 小松	2,137,033	92,000	2,229,033
	18 石垣	1,747,124	7,000	1,754,124
	19 函館	1,535,680	112,000	1,647,680
	20 大分	1,582,439	26,000	1,608,439
	21 高松	1,360,294	37,000	1,397,294
	22 岡山	1,180,000	191,000	1,371,000
	23 旭川	1,178,963	79,000	1,257,963
	24 高知	1,243,395	3,000	1,246,395
	25 北九州	1,120,436	12,000	1,132,436
	26 秋田	1,080,792	40,000	1,120,792
	27 富山	964,191	129,000	1,093,191
	28 青森	1,041,810	46,000	1,087,810
	29 宮古	1,032,765	0	1,032,765
※	30 新潟	812,580	209,000	1,021,580
	31 女満別	831,306	10,000	841,306
	32 山口宇部	806,461	5,000	811,461
	33 徳島	768,336	1,000	769,336
	34 釧路	742,954	19,000	761,954
	35 出雲	716,562	1,000	717,562
※	- 静岡	418,742	215,919	634,661
	36 帯広	547,468	32,000	579,468
	37 奄美	528,985		528,985
	38 美保	429,647	32,000	461,647
※	39 福島	341,663	74,000	415,663
	40 庄内	381,042		381,042
※	41 名古屋	379,055		379,055
※	42 丘珠	347,769		347,769
※	43 花巻	334,761	11,000	345,761
	44 鳥取	294,109	1,000	295,109
※	45 佐賀	278,521	1,000	279,521
※	46 対馬	277,475		277,475
	47 三沢	256,671		256,671
	48 久米島	239,659		239,659
	49 八丈島	196,698		196,698
	50 稚内	186,451		186,451

出展：平成21年度「空港の利用状況」国土交通省航空局

※羽田便がない空港

H20年度 空港別貨物取扱量順位

(トン)

		国内	国際	合計
	1 成田	4,062	1,880,936	1,884,998
	2 東京	740,384	10,059	750,443
	3 関西	62,669	660,976	723,645
	4 新千歳	246,639	3,798	250,437
	5 福岡	197,994	44,654	242,648
	6 那覇	228,359	1,809	230,168
	7 中部	38,329	123,653	161,982
	8 大阪	126,709		126,709
	9 鹿児島	41,423	590	42,013
	10 熊本	31,454		31,454
	11 広島	24,039	897	24,936
	12 神戸	19,283		19,283
	13 小松	5,713	12,053	17,766
	14 函館	16,314	2	16,316
	15 佐賀	14,421	1,877	16,298
	16 長崎	15,864	404	16,268
	17 石垣	15,353		15,353
	18 仙台	13,781	1,488	15,269
	19 宮崎	12,847		12,847
	20 宮古	12,738		12,738
	21 大分	12,612		12,612
	22 高松	11,366	10	11,376
	23 旭川	10,250		10,250
	24 北九州	9,612	28	9,640
	25 松山	8,841	6	8,847
	26 帯広	8,307		8,307
	27 岡山	6,532	135	6,667
	28 青森	5,365	1	5,366
	29 釧路	5,363		5,363
	30 高知	4,550		4,550
	31 山口宇部	3,925		3,925
	32 富山	3,621	210	3,831
	33 女満別	3,750		3,750
	34 徳島	3,412		3,412
	35 秋田	3,223	13	3,236
	36 出雲	2,331		2,331
	37 八丈島	2,100		2,100
	38 久米島	1,969		1,969
	39 新潟	1,531	425	1,956
	40 奄美	1,950		1,950
	41 美保	1,510		1,510
	42 庄内	1,191		1,191
	43 鳥取	1,112		1,112
	44 大島	1,095		1,095
	45 花巻	984		984
	46 福島	790	28	818
	47 徳之島	716		716
	48 三沢	686		686
	49 与那国	619		619
	50 対馬	596		596
	- 静岡	100		100

開港1年目
(平成21年6月4日～22年6月3日)

6 主な取組例

ソフト事業を中心に
新設は採算性を重視、空港ティーガーデンシティとしての一体感の醸成

区 分	候補地	実施期間
1 空の道「エアポートロード」		
○石雲院展望デッキ【新設】「長谷川委員提案」	石雲院展望台南側滑走路の法面 (県有地＋一部石雲院敷地)	23年度～24年度
○ペDESTリアンデッキ【新設】「長谷川委員提案」	空港PTB～石雲院展望デッキ (県有地＋一部石雲院敷地)	23年度～24年度
○例1「エアポート楽座1」(新駅動線上)【新設】 「静岡文芸大提案」	空港PTBと貨物エリアの間	短期 ※需要等を踏まえ具体的な計画策定に取り組む。
○例2「エアポート楽座2」【新設】「長谷川委員提案」	空港PTBと管制塔の間	
○空港施設を取り囲むリング状の遊歩道 (全長約7.5km)【既存、一部新設】	空港本体部周辺 (周囲部：県有地)	中長期
○西側展望台【移設】	空港西側地区	22年度～
○東展望台【新設】	進入灯直下 (周囲部：県有地)	中長期(一部短期)
○南展望台【新設】	進入灯南側 (周囲部：県有地)	中長期
2 茶の道「ティーロード」		
○空港周辺の森やビオトープ等を結ぶ遊歩道 (全長約20km)	空港周辺 (石雲院、榛原ふるさとの森、赤坂池、千頭ヶ谷、城山)	中長期
○県内の有名茶産地8か所のお茶を味わい憩える8か所の休憩四阿の設置【新設】 《四阿》1 エアポート楽座、2 石雲院、3 榛原ふるさとの森、 4 赤坂池、5 千頭ヶ谷、6 城山展望台、 7 南展望台、8 東展望台、	県有地、島田市～牧之原市	中長期
3 風の道「ウインドロード」		
○「風の郷」【新設】	島田市金谷	
○例1「多目的展示交流施設、オーベルジュ型 飲食宿泊施設、研修宿泊セミナー施設、 富士山・土・木アトクショップなど」 *静岡文芸大提案	島田市金谷 (旧金谷中学跡地〔約5.56ha〕)	中長期
○例2「多目的展示施設」		
○史跡を結ぶ道(全長約33.5km) お茶の郷、グリーンピア牧之原、旧東海道石置、蓬萊橋などを繋ぐ道 地元特産品を味わえる飲食店等を誘致、サイン街路灯設置等	島田市～牧之原市	中長期
4 海の道「オーシャンロード」		
○小山城から県営吉田公園など、駿河湾の海岸線を結ぶ道	吉田町、静波・相良	中長期

*「4つの道」の主要施設を巡るスタンプラリーなどの企画を検討する。

第4回有識者会議での意見



空港周辺に対しての設備投資をかなりおやりになるような感じですが、ハードを持つことは、これからの行政にとりましては大変リスクだと思います。先ず、事業収益のシミュレーションを含め、建設コストやメンテナンスコストなど、そういったものがかなり掛かってきますので、やはり収益のシミュレーションを綿密にやっていくことが重要です。

石雲院展望デッキ

富士見のデッキ、航空写真のベストスポット創出、地元が最高のおもてなしを演出

デザイン案

石雲院パース図・平面図(長谷川逸子・建設計画工房株式会社)



設置主体等

- 完成目標：24年度 ●規模・材質：【展望デッキ】木造鉄筋コンクリート・延べ面積 1,500 m² 【休憩所】木造鉄骨(1階面積)100.20 m² (2階面積)40.58 m²、計 140.78 m²
- 概算経費：試算中 ●事業主体：県等

課題

- 見学客の流れを石雲院側につくるための工夫が必要

第2回有識者会議での意見



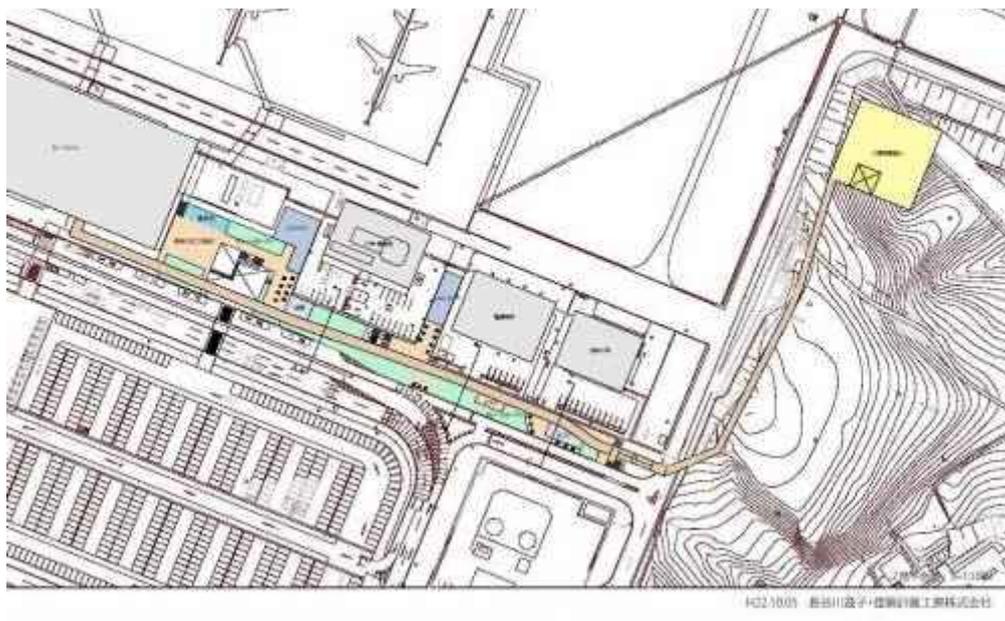
空港というのは、近代の象徴のようなものですね。お寺というのは、古い歴史の象徴で、近代の歴史と古い歴史が、たまたま隣接しているという、この地の利は非常にいいと思う。

ペDESTリアンデッキとエアポート楽座

空港ターミナル施設と石雲院展望デッキを接続する遊歩道・エアポート楽座

デザイン案

- ペDESTリアンデッキ(2階)とエアポート楽座(1階)位置図
(長谷川逸子・建設計画工房株式会社)



- ペDESTリアンデッキ(2階)とエアポート楽座(1階)イメージ図
(長谷川逸子・建設計画工房株式会社)

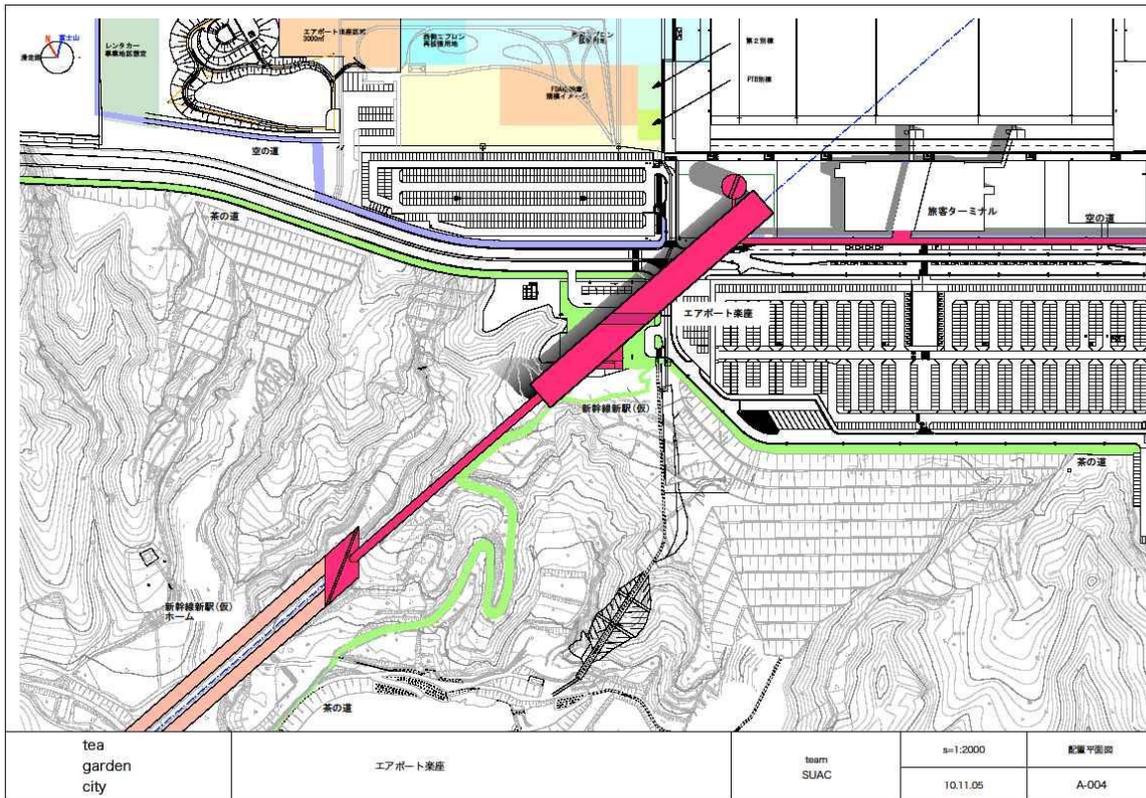


エアポート楽座

楽座を彩る多彩で新鮮な静岡農産物
おしゃれな空間の創造(カフェ)

デザイン案

● エアポート楽座位置図 (静岡文化芸術大学チーム)



● エアポート楽座イメージ図 (静岡文化芸術大学チーム)



設置・運営主体

区 分		設置（財源等）	運 営
①	民設・民営	P F I 方式（民間の資本活用）	民間の経営ノウハウ導入
②	空港周辺（2市1町）	県・市町の共同負担	2市1町で検討
③	公設・民営	県予算化	指定管理者制度、公募

課 題

- 空港の近隣には県内有数の大規模な農産物直売所が多数立地することから、競争を考えると品揃えやサービスに工夫が求められる。搭乗者の需要を見込むには、地域の独自性の強い特産品、配送に適した商品の充実や宅配サービス機能が必要である。
- 集客力を維持するためには、“そこにしかない”独自性のある商品、継続して足を運ばせるようなイベント開催、季節限定メニューの提供、などの工夫も必要である。

第4回有識者会議での意見



スターバックスが静岡のグリーンティーを使って、それこそグリーンティーフラップとかそういうのをつくられ、更に日本だけではなく、世界でそのグリーンティーラテを静岡産のものを使っただけならば、早くに世界に広まるのではないかなと。だから、他の日本におけるコーヒー会社を別に度外視しているわけではなく、速いスピードでやるならば、商品としてはスターバックスがいいのではないかなと思ってサジェスチョンさせていただいたんです。

- 富士山を望むことができる人気のカフェ

スターバックスコーヒー（富士川SA）



楽座を彩る多彩な農産物

志太榛原・中東遠地区の代表的な農産物

この地域は、茶、米、ばら・トルコギキョウ等の花き、メロン、いちご、
トマト等施設園芸や各種の露地野菜など様々な農業生産や、牛、豚等の畜産が行われる県内有数の農業地域。

順位	島田市			牧之原市			吉田町		
	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比
	総額	978	100	総額	1406	100	総額	132	100
1	茶(生葉)	477	48.7	茶(生葉)	592	42.1	レタス	49	37.5
2	荒茶	164	16.7	荒茶	241	17.2	米	33	25.1
3	米	75	7.6	洋ラン(鉢)	86	6.1	茶(生葉)	11	8.3
4	レタス	60	6.1	米	67	4.8	メロン	4	2.8
5	ばら	33	3.4	レタス	61	4.3	ばれいしょ	3	2.4
6	肉用牛	26	2.6	豚	43	3.1	トルコギキョウ	2	1.5
7	みかん	22	2.3	いちご	41	2.9	だいこん	2	1.4
8	いちご	13	1.3	みかん	38	2.7	キャベツ	2	1.2
9	トルコギキョウ	9	0.9	だいこん	37	2.6	ねぎ	1	1.1
10	ガーベラ	8	0.9	ガーベラ	24	1.7	スイートコーン	1	0.8
11	きゅうり	6	0.6	メロン	23	1.6	かんしょ	1	0.5
12	生乳	4	0.4	ばれいしょ	14	1	いちご	1	0.5
13	チンゲンサイ	4	0.4	トマト	13	0.9	さといも	1	0.5
14	ねぎ	3	0.3	トルコギキョウ	10	0.7	さやいんげん	1	0.5
15	トマト	3	0.3	きゅうり	5	0.3	なす	1	0.4

順位	焼津市			藤枝市			岡部町		
	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比
	総額	257	100	総額	669	100	総額	190	100
1	米	65	25.4	茶(生葉)	236	35.2	茶(生葉)	59	30.8
2	トマト	28	11	米	87	13	みかん	52	27.5
3	みかん	17	6.8	みかん	65	9.7	荒茶	25	13.2
4	茶(生葉)	11	4.1	荒茶	62	9.3	たけのこ	10	5.2
5	きゅうり	5	2	いちご	37	5.5	米	9	4.7

順位	大井川町			川根町			川根本町		
	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比
	総額	174	100	総額	138	100	総額	184	100
1	米	53	30.2	茶(生葉)	94	68	茶(生葉)	128	69.6
2	トマト	21	12	荒茶	34	24.8	荒茶	41	22.4
3	ねぎ	14	8	米	2	1.4	わさび	2	1
4	いちご	14	7.9	トマト	1	0.4	米	1	0.6
5	ばら	11	6.3				ゆず	1	0.5

順位	磐田市			掛川市			袋井市		
	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比
	総額	1371	100	総額	2036	100	総額	1137	100
1	メロン	275	20.1	茶(生葉)	511	25.1	メロン	370	32.5
2	米	242	17.6	鶏卵	298	14.6	米	215	18.9
3	茶(生葉)	152	11.1	荒茶	259	12.7	茶(生葉)	170	14.9
4	ねぎ	123	8.9	米	187	9.2	荒茶	91	8
5	鶏卵	68	4.9	メロン	148	7.3	豚	86	7.5



* 出展「平成18年静岡県生産農業所得統計(合併前のデータ)」 単位:産出額1,000万円 構成比%

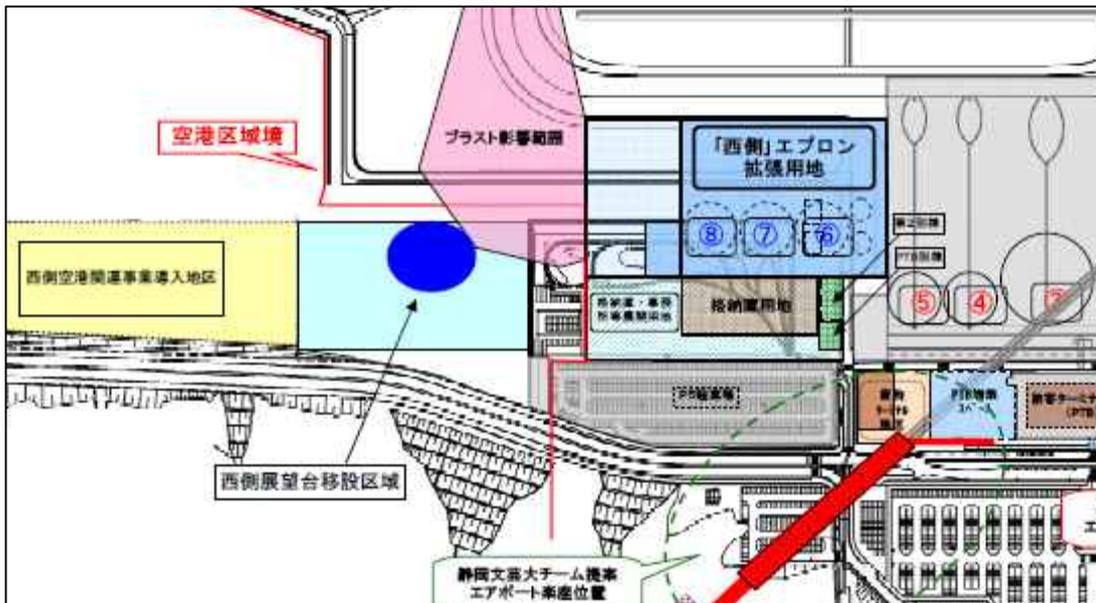
西側展望台(移設)、東側展望台

真近で迫力ある飛行機や進入直下で飛行機を見れる展望広場

●移設する西側展望台イメージパース図



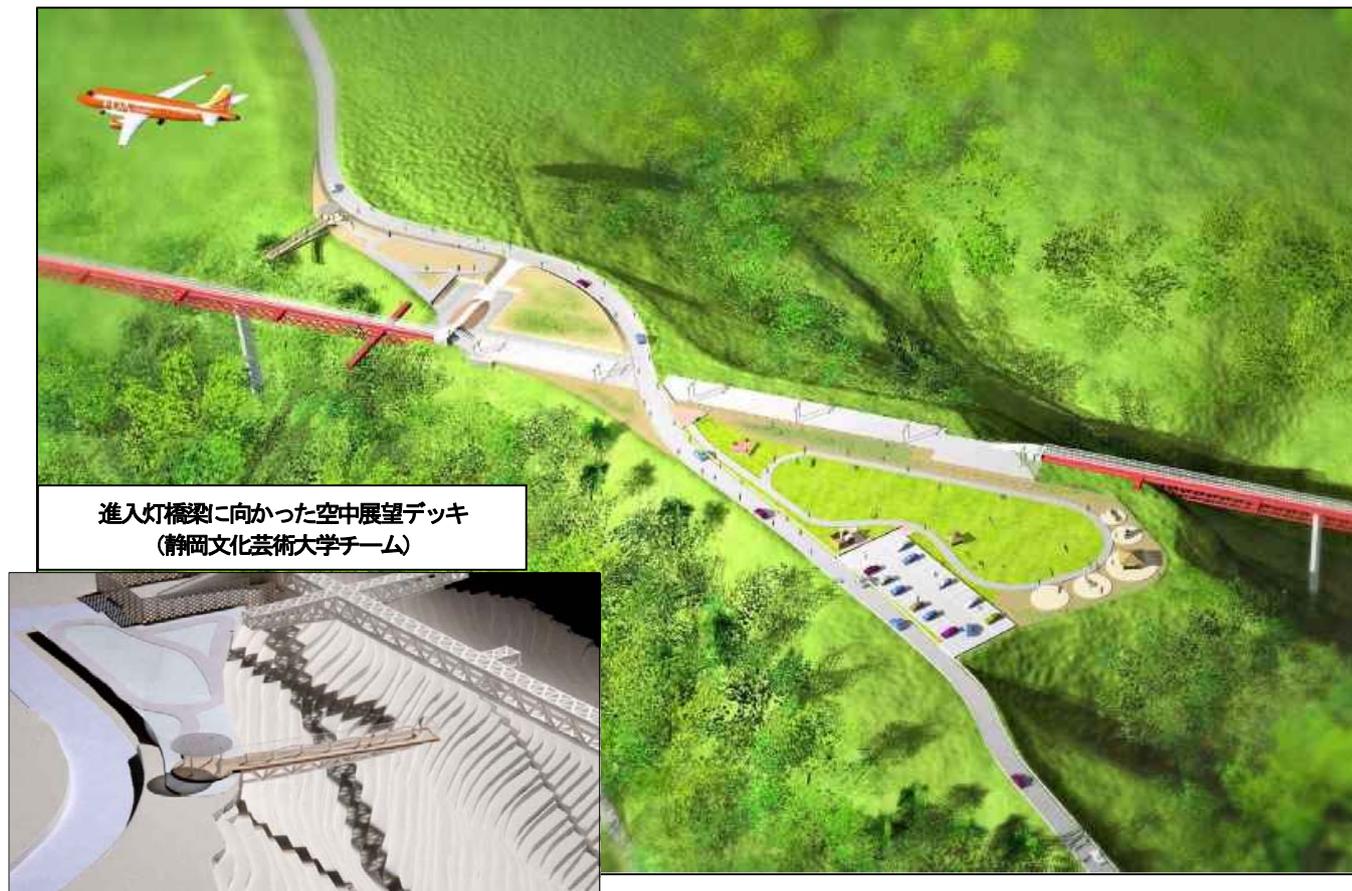
●西側地区平面図



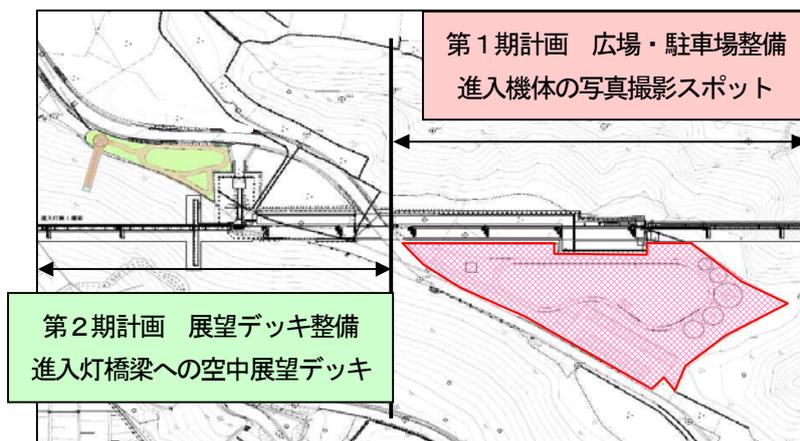
整備計画等

- 西側展望台(移設): 県整備(西側エプロン増設に伴う)、平成22年度イベント広場も同等程度確保

● 進入直下の空港東側公園イメージパース図



● 進入直下の空港東側公園の平面図



整備計画等

- 第1期計画：県整備（地元要望有）、平成22年度末～平成23年度
- 第2期計画：中長期計画

課題

- 電気、水道供給に工夫が必要。
- 進入道路（市道）に狭隘部分がある。（すれ違いは可能）

7 4つの道(空・茶・風・海)の取組例と観光等素材 (1)空の道《エアポート・ロード》 全長 約7.5km

空の道
エアポートロード

離着陸する飛行機の展望を楽しむ遊歩道の整備

取組例

- 石雲院展望デッキ
- ペDESTリアンデッキ
- エアポート楽座
- 西側展望広場の移設
- リング状の遊歩道、東展望台、南展望台
- 桜等の植樹による空港周辺の景観形成

課題

- リング状の想定ルートは、空港管理区域と隣接しているため、保安上、支障とならないようルートを検討する必要がある。
- 標高130m前後の高さの遊歩道になることから、安全対策も必要である。
- トイレや休憩施設を含めて検討する必要がある。

観光等地域資源

富士山静岡空港

平成21年6月4日、牧之原市に富士山静岡空港が開港しました。滑走路の長さは2,500m。定期便の就航先は国内6箇所(札幌・小松・福岡・熊本・鹿児島・沖縄)、国外2箇所(韓国・上海)。

ターミナル3階展望デッキのほか、隣接する龍門山石雲院、西側展望広場などで航空機離着陸の見学可能。



ナイトターミナル



空港から富士山を望む

八十八夜と8ヶ所のお茶名産地の散策路の整備

取組例

- 空港周辺の森やビオトープ等を結ぶ道の整備
- 休憩四阿（あずまや）8ヶ所の整備とグリーンティーツーリズム等の情報発信
- 城山展望台の整備
- アクセス道や散策路（遊歩道）への四季折々の木々の植樹による名所化

課題

- ルートマップ、案内誘導、トイレ、休憩施設等の整備が必要である。
- お茶の味わい処を整備する場合は、管理方法、運営方法等が課題となる。

観光等地域資源

牧之原市

建築と彫刻にすぐれた 龍門山石雲院



(左)座禅堂・(右)山門



石雲院本堂

大茶園でつくる味本位の深蒸し茶 静岡牧之原茶



深蒸し茶

歴史と自然、温故知新のモデルコースの提案

取組例

- 史跡を結ぶ道の整備（サイクリングコース等）
- 風の郷の整備
- 共通サインの整備
- 街路樹の整備による景観形成
- 「風の道」周遊マップ スタンプラリーの企画
- フィルムコミッションの活用
- 地域自慢の飲食店、名産品や工芸品などの販売店の誘致、整備
- FIT用情報誌の整備（文化、歴史、見所などを紹介）



共通サイン例 長谷川逸子・建築十画工房(株)

課題

- 既存素材を活かした誘客促進等

第4回有識者会議での意見

<お茶文化を活かした「魅力ある空港づくり」に関する提案>



◎ 空港周辺地域の総合的な体験の場づくり（茶摘み体験、茶器の焼物体験 等）

◎ 「お茶の郷」を拠点する茶文化の世界に向けた情報発信（「お茶の郷」に世界緑茶協会、生産組合、研究所などの関係団体の機能を集約し、お茶の郷の魅力を高める。博物館の収蔵資料の収集・充実など）

観光等地域資源

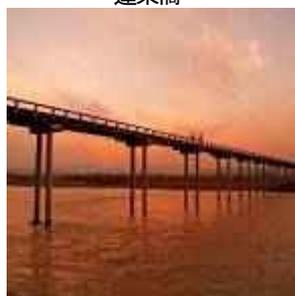
島田市

旧東海道金谷坂石畳、お茶の郷博物館、蓬莱橋、大井川川越遺跡、国指定史跡 諏訪原城跡、ばらの丘公園、大井川鐵道「新金谷駅」と「SL」、牧之原公園、中條金之助景昭の碑、島田市博物館

お茶の郷



蓬莱橋



「SL」



牧之原市

勝間田川堤桜、勝間田公園ミヤマツツジ、秋葉公園アジサイ、東光寺長藤、グリンピア牧之原、さがら子生れ温泉、相良油田油井、相良史料館

(4)海の道<<オーシャン・ロード>> 全長 約23km

フラワーで彩られたロードが 花と緑あふれる(吉田公園)に誘う空間美

海の道
オーシャンロード

取組例

- 吉田公園と小山城の活用
- 共通サインの整備
- 「海の道」周遊マップの作成・スタンプラリーの企画
- F I T用情報誌の整備（文化、歴史、見所などを紹介）

課題

- 既存素材を活かした誘客促進等

第5回有識者会議での意見



僕も子供のころには、吉田港で遊んだり、父と釣りをしたりというような場所でもありましたので、「海の道」という意味では、サーフィンとか、ぱっと見て、僕が海外で体験したマリーナみたいなものが逗子マリーナには普通にありますけど、そういうマリーナ構想みたいなものが、同時に起きていって、例えば、世界的にオーストラリアとかハワイとか、そういったところと提携するようなサーフィン大会やマリーナで釣りをしたり、そこで夏時間を過ごすような、そういう構想がアジアの人たちにとっても有意義な場所になったり、広くオセアニア地域の人も、遊びに来られるような場所になるといいなとも思いました。

観光等地域資源

牧之原市

水平線からの初日の出、牧之原の海水浴場、海上花火大会、相良草競馬大会、相良凧あげ大会

吉田町

展望台施設小山城



静岡県営吉田公園



魅力ある施設をつなぐ周遊コースの設定

主な施策の基本方向（静岡県総合計画基本構想案より引用）

●奥大井や駿河湾・遠州灘等の多彩な資源を生かした魅力づくり

奥大井地域等の森林景観、大井川流域等の田園景観、牧之原台地等の茶園景観など、広大な魅力あふれる自然空間と空港等の都市機能が調和する「ガーデンシティ」として、一体感のある地域作りを促進する。

塩の道・秋葉街道等の歴史文化、豊富な食材、大井川鉄道、エコパをはじめとするスポーツ施設など、多彩な地域資源を活用し、駿河湾・遠州灘から奥大井までの南北軸の連携の促進により地域の魅力を高め、国内外との観光・文化・スポーツなど多様な交流を促進する。

取組例

●周遊コースを巡るコースの提案

●外国人に人気のある施設の活用（資生堂企業資料館・アートハウス、SL、グリーンピア、玉露の里、焼津さかなセンターなど）



9 これまでの検討経過

富士山静岡空港の魅力を高める有識者会議と地元検討会の開催

1 富士山静岡空港の魅力を高める有識者会議

構成：18名（委員11名、特別委員7名）

区分	氏名	役職等
委員	奥谷 禮子	ザ・アール社長
	上條 典夫	(株)電通ソーシャル・プランニング局長
	川口 宗敏	静岡文化芸術大学大学院デザイン研究科長
	杉浦 一機	航空アナリスト、首都大学東京客員教授
	鈴木 砂羽	女優
	長谷川 逸子	建築家（長谷川逸子・建築計画工房）
	船山 龍二	(社)日本ツーリズム産業団体連合会会長
	別所 哲也	俳優、ショートショート フィルムフェスティバル&アジア代表
	間宮 忠敏	日本政府観光局（JNTO）理事長
	マリ クリスティーヌ	異文化コミュニケーター（国連ハビタット親善大使）
	山内 弘隆	一橋大学大学院商学研究科教授
特別委員	寒竹 伸一	静岡文化芸術大学大学院デザイン研究科教授
	熊倉 功夫	静岡文化芸術大学学長
	高橋 喜幸	早稲田大学公共政策研究所教授
	中山 定雄	静岡文化芸術大学デザイン学部講師
	根本 敏行	静岡文化芸術大学文化政策学部教授
	横山 稔	文化女子大学造形学部教授
	羽田 隆志	静岡文化芸術大学デザイン学部准教授

※ 敬称略、五十音順

2 地元検討会

構成：地元住民16名（島田7名、牧之原6名、吉田3名）、2市1町首長

3 これまでの開催実績

会議名	平成21年度	平成22年度
有識者会議	① 8月12日（水） ② 9月2日（水） ③ 11月17日（火） ④ 2月15日（月）	⑤ 7月9日（金） ⑥ 11月5日（金）
地元検討会		① 4月27日（火） ② 6月22日（火） ③ 10月5日（火）

10 定期便各静岡支店からのメッセージ



【全日本空輸静岡支店】鹿野内国裕支店長

冬の晴れた日は絶好の飛行機日よりになります。特に札幌から静岡への飛行中は富山湾、能登半島、北アルプス、南アルプス、駿河湾、伊豆半島そして雪を頂いた霊峰富士山をパノラマのごとく見渡せます。そして着陸は緑豊かな静岡空港へ。空のたびをANAでお楽しみください。



【フジドリームエアラインズ】齋藤茂宏営業体部長

着陸態勢に入ると機窓からは、透きとおったブルーの駿河湾と雄大な富士山の姿、続いて、美しい緑の茶畑と、大パノラマのような風景が次々に展開していきます。多くのお客様がその美しさに感嘆の声をあげられます。私も常にその中の一人で、出張のたびにこの景色を眺めることを楽しみにしています。FDAのカラフルな機体で空港の魅力を一層引き立てることが出来ればと思っております。



【中国東方航空静岡支店】蘇涛支店長

今年の夏、上海から静岡に帰る飛行機の中で、中国人の子ども記者たちと一緒にになりました。子ども向け新聞の取材で来た彼らは上空から静岡空港を眺めながら、まるで庭園みたいだと声を上げていました。豊かな茶畑や森林に囲まれた静岡空港は、他とは違う魅力を持った空港です。静岡の良さをここから発信していければいいと思います。



【アジアナ航空静岡空港支店】丁恂馥支店長

静岡空港に就航して2年目を迎え、静岡県の皆様に感謝を申し上げます。富士山・駿河湾・伊豆半島などの風光明媚な観光資源はとても魅力的です。今後も皆様にアジアナ航空を利用して頂ける事をお待ちしています。



【大韓航空静岡支店】金森慶多支店長

国内外の訪問客が静岡空港に到着あるいは出発する時富士山を背景にしたホッとするとともに過ごすことのできる場所「エアポート楽座」がきっと評判になり利用客が増え空港が活性化するものと期待しています。